

令和3年度 第1回教育委員会定例会

日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和3年4月12日(月)	教育長 坂元 裕人	教育総務課長 野村 宏治
午後2時00分	教育委員 田原 正人	学校教育課長 今井 誠
↓		
午後3時50分	教育委員 葛迫 幸平	社会教育課長 兼 米田 昭嗣
第2研修室	教育委員 田之上 厚美	国体推進課長
	教育委員 福里 由加	

会議要旨

1 開会

定刻、定足数に達しており、令和3年度第1回教育委員会定例会を開会した。
議案第7号は、教育長から、非公開で審議する旨の発議があり全会一致で議決された。

2 令和2年度第12回定例会会議録の承認 承認

3 議事

- 報告第7号 令和3年3月31日付け退職者、令和3年4月1日付け教育委員会職員及び小・中学校教職員定期人事異動について
- 報告第8号 市スクールカウンセラー、市スクールソーシャルワーカー、市・県スクールガードリーダーの委嘱について
- 報告第9号 令和3年度地域学校協働活動推進員の委嘱について
- 報告第10号 令和3・4年度垂水市スポーツ推進委員の委嘱について
- 報告第11号 令和3年度垂水市地区公民館館長代理及び主事の任命について
- 議案第7号 垂水市教育委員会外部評価委員の委嘱について
- 議案第8号 垂水市学校給食センター調理・配送業務委託に係る債務負担行為の限度額認定について

4 その他

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉会

議 決 事 項

件 名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>報告第7号 令和3年3月31日付け退職者、令和3年4月1日付け教育委員会職員及び小・中学校教職員定期人事異動について</p>	<p>退職者、転出者、転入者等を報告するものである。</p>	<p>特記事項 永倉仁貴主幹兼学校主事を主幹兼指導主事へ、坂口美保社会教育課主事を学校教育課主幹兼学校教育係長へ訂正</p>	
<p>報告第8号 市スクールカウンセラー、市スクールソーシャルワーカー、市・県スクールガードリーダーの委嘱について</p>	<p>市スクールカウンセラー、市スクールソーシャルワーカー、市・県スクールガードリーダーの委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 委嘱期間：委嘱日から令和4年3月31日まで。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第9号 令和3年度地域学校協働活動推進員の委嘱について</p>	<p>令和3年度地域学校協働活動推進員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第10号 令和3・4年度垂水市スポーツ推進委員の委嘱について</p>	<p>垂水市スポーツ推進委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 任期：令和3年4月1日から令和5年3月31日まで</p>	<p>特記事項なし</p>	

<p>報告第11号 令和3年度垂水市地区公民館館長代理及び主事の任命について</p>	<p>令和3年度垂水市地区公民館館長代理及び主事の任命について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>議案第7号 垂水市教育委員会外部評価委員の委嘱について</p>	<p>垂水市教育委員会外部評価委員の委嘱について、教育委員会に議決を求めるものである。 委嘱期間：令和3年4月1日から令和5年3月31日まで</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>議案第8号 垂水市立学校給食センター調理・配送業務委託に係る債務負担行為の限度額設定について</p>	<p>垂水市立学校給食センター調理・配送業務の委託に係る公募型プロポーザルを実施するにあたり債務負担行為を定めることについて教育委員会の議決を求めるものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	

<p>3 議 事</p> <p>教育総務課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>田之上委員</p> <p>学校教育課長</p> <p>教育長</p> <p>学校教育課長</p> <p>教育長</p> <p>学校教育課長</p> <p>社会教育課長</p> <p>教育長</p>	<p>報告第7号 令和3年3月31日付け退職者、令和3年4月1日付け教育委員会職員及び小・中学校教職員定期人事異動について 退職者、転出者、転入者等を報告するものである旨、及びその内容について報告。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>報告第8号 市スクールカウンセラー、市スクールソーシャルワーカー、市・県スクールガードリーダーの委嘱について 令和3年度の市スクールカウンセラー、市スクールソーシャルワーカー、市・県スクールガードリーダーの委嘱を、教育長の臨時代理により決定したことを報告するとともに、その内容について説明。</p> <p>配置校のところで、森吉先生のところは「垂水中央中 市内各小学校」となっているが、福德先生、天野先生のところは、「垂水中央中 垂水小学校 市内各小学校」となっているのは何故か。</p> <p>両方に垂水小学校を入れて問題はなかったと思う。どうしても人数が多い中央中と垂小が中心というのがあり、行く回数も増えて独立している。それ以外の学校という捉え方をしていただけたらと思う。</p> <p>公平性を来す観点からは「垂水小学校」の記載をなくした方がよい。</p> <p>そのようにします。</p> <p>スクールガードリーダーについて、後継者の目処は立っているのか。</p> <p>現在のところ目処は立っていない。いろいろな方から情報を戴き、今後、適任者を育成したり見付けたりしていきたい。</p> <p>報告第9号 令和3年度地域学校協働活動推進員の委嘱について 令和3年度地域学校協働活動推進員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したことを報告するとともに、その内容について説明。</p> <p>いままで、学校応援団と言っていた名称を文科省が「地域学校協働活動推進員」と改称し、使用している。</p>
--	--

田原委員	名前が「地域学校協働活動推進員」ですね。「学校応援団」の方がよかったですね。
社会教育課長	「学校応援団」の方が分かりやすいと思うが、このように決められたものですから。
田原委員	地域に説明するとき、自分でも名称は何だったかなと思うときがある。「学校応援団」と言えば、理解してもらえる。現在、なかなか団員を常時登録し確保するのは難しいが、その都度、お孫さんたちが居られるところの「じいちゃん、ばあちゃん」たちを応援団に頼んでやって貰っている。
教育長	ありがたい。境校区の場合は、境小を盛り上げるという面もある。新たに4名の方が入られて、ますます、子供たちが、学校が、地域が元気になるように活動を進めていただけたらと思う。
社会教育課長	<p>報告第10号 令和3・4年度垂水市スポーツ推進委員の委嘱について</p> <p>令和3・4年度垂水市スポーツ推進委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したことを報告するとともに、その内容を説明。</p>
教育長	このスポーツ推進委員は割と年代の移行がうまくいっているのでは。それに、長く経験されている方が、しっかり締めておられてよい感じである。いろいろな会合でもよく言われることであるが、スポーツ推進委員も女性をどんどん入れていった方がいいかもしれない。
社会教育課長	今回も、前回と比べると1人増えて3人となっている。今後も女性の方々が増えていくようお願いをしていきたい。
社会教育課長	<p>報告第11号 令和3年度垂水市地区公民館館長代理及び主事の任命について</p> <p>令和3年度垂水市地区公民館館長代理及び主事の任命について、教育長の臨時代理により決定したことを報告するとともに、その内容を説明。</p>
教育長	公民館活動も、コロナ禍でいろいろな出来ないことがあると思うが。
田原委員	私も、館長代理も3年されたが、「おんだんこら」を1回もしていない。1回はしたいと思っているので今年はやりたいと思う。実際、様々な行事が中止になり物足りない1年であった。そのような思いもあり、最後の1年だと思ってやっているところである。
	議案第7号

	<p>垂水市教育委員会外部評価委員の委嘱について (非公開) (議案第7号 承認)</p>
	<p>議案第8号 垂水市立学校給食センター調理・配送業務委託に係る債務負担行為の限度額設定について</p>
学校教育課長	<p>垂水市立学校給食センター調理・配送業務の委託に係る公募型プロポーザルを実施するに当たり、債務負担行為の限度額を定めることについてその内容を説明。</p>
田之上委員	<p>令和6年度の限度額が極端に少ないのは何故か。</p>
学校教育課長	<p>実はここには記載はないが、令和3年度が3,696万円である。8月1日からなので、(8月～3月まで)8か月である。令和6年度は、(4月～7月までの)4か月分になる。4か月と8か月を足せば5,544万円で満額という形になる。</p>
田原委員	<p>公募制ということで、各々の業者が応募すると思うが、実績のあるところが有利なのか。</p>
学校教育課長	<p>現在、全国で実績のあるところが、すでに5社ある。すでに全国でしっかり学校給食センター等で実績のあるこの5社については、もう既に色々やりとりをしている状況である。さらに公募することによって、他の業者も応募する可能性があるため、そこまで含めると5社を下回ることはない。</p> <p>金額の設定についても、仮の見積もりを取っており、どこの業者でも公募に参加できるように、一番高い金額を設定している。これより上になることは一切ない。業者によっては、下回ることはあるという考え方で「実績重視」である。それまでに、令和元年度、2年度の実績を公認会計士に見て頂いてこの企業は大丈夫だという企業がプロポーザルにあがるという手順になっている。</p>
教育長	<p>栄養教諭の件を報告してください。</p>
学校教育課長	<p>栄養教諭は前年度まで2人体制だったが、1,500食を下回ると言うことで、今回残念ながら、大隅とともに1人減ということになった。民間委託を控えているので何とかしてくださいとお願いしていたのだが、県は1人減という結論を出された。これまでの2人体制から1人体制になるのだが、1人よりは2人の方が当然充実はするのであるが、現在の栄養教諭があと1年ということでおられます。これまでは県の講師等をされていたが、1人体制になるので、すべて県の要請を断るわけではないが、先生の負担にならないように市の業務に専念していただきたい。あと、食育の学校関係</p>

	の日程調整も先生に負担が行かないような配慮をしていきたい。
教育長	各学校のPTAの方々の給食センター一部民間委託の件についての説明は順調にしているのか。
学校教育課長	牛根と柘原は夜7時からの開催ということで、この前終わりました。今週は色々入っております。水曜日が二つ。境、松ヶ崎、協和、新城が4月に終わっていきます。4月末に水之上が、5月に垂小があります。中学校はPTA総会を開かないということでした。ここについては、小6のメンバーが中1にいつていることですので、支障はないと思っている。新入生が今回主に対象ですので、PTA総会の最初で時間を頂いて、説明させていただいております。今のところ意見はありません。「給食費は変わりません。今までと変わらず万全な方法で対処していきます。」と言うと誰も何も言われず逆に頑張ってくださいと言われます。要は人員確保のための話ですし、今の調理員も希望されれば全員が採用という形になります。どの企業も調理師の方を取りたいと思っている。他から来てもらうのもなかなか大変なので、今の8時から4時45分勤務これは固定されていますので、8時と言ったら7時45分には着いている。朝の早い時間帯になかなか来れない方がいて採用に乗っかれないと。少しこれを1時間でもずらせば全然違うという捉え方。企業によっては午前だけ勤務、午後だけ勤務というのを配置できたりというところに対応すれば、スタッフは母体を集めて、その中から毎日12人といった形で調整が出来るような体制を垂水でつくりたいと考えている。企業の方が最初はリーダーで何人か来るのだが、極力、最後は市の方が正社員としてリーダーになるシステムにどこももっていきたいと考えている。どこも人がいないということで苦しんでいて、委託になっている。他の調理場から人を借りてくるやり方もあるのだが、もうそのシステムの中で動きますからやれることが限られていて、可能な限り垂水市の給食センターは垂水市で確保という風にしないといけない。極論を言えば、今のメンバーが全員残ってくれば、そこにリーダーが業者から来るだけなので問題はないのである。密かに今、最初議論をした時よりも人がたくさん増えており確保は出来ている状態である。週4日勤務なので、これが週5日勤務となって皆がそれだけ働けば、今のスタッフでも十分回せるのである。今、週4なので必ず誰かが週に1日は休まないといけない。このあたりの調整がし易くなると思います。
教育長	給食費の値上がりの予定もないですね。
学校教育課長	ないです。 (議案第8号 承認)
4 その他	なし
5 委員並び	委員並びに教育長及び課長報告に入る。

に教育長及び課長報告

田原委員

「校長先生の初仕事」

学校も市役所も転出入があり、新しい布陣でスタートが切られている。水之上小学校も校長先生が替わられて新しい風が吹いている。今年のおんだんこら祭りは、18人だったか20人弱の役員による神事のみであった。いつもは9時半からするのだが、今年は9時からやったら、終わった途端パラパラ雨が降りだし、外で出来てよかったなと思うことだった。その席に水之上小の教頭先生が新しい校長先生を連れて参加して下さった。早速、自己紹介が始まり、校長先生も地域の方々もお互いを知るいい機会となったと思う。

校長先生は、自動的に公民館役員の3人の監事の一人となることになっている。昨日は早速総会に向けての監査があり、監事として監査をしていただいた。公民館の五つの団体の会計監査をしていただいた。慣れない仕事だったと思うが黙々と頑張っていたいただき有難かった。

校長先生の負担とならないように、また、学校と地域との懸け橋となっただけのように私の方も配慮したいと考えているところである。

「転入教職員宣誓式」

コロナ禍ということでもあり、こういう会が開けてよかったなあとと思うし、今年は各学校純粋に転入者だけの会であった。校長先生の転入が9校中6人、新規採用教員も4人と大幅な異動であったと思う。GIGAスクール構想など新しい教育方法の導入で、学校を変えようとしている時なので、転入の先生方にはまた新たな風を吹き込んでくださるようにと期待している。

葛迫委員

「現在、鹿児島市立美術館で開催中の遠藤彰子展について」

昨年開催予定であった「遠藤彰子展」は、新型コロナウイルス感染拡大で1年延期となり、今年3月26日（金）から5月5日（水）のこどもの日まで開催される。遠藤彰子さんは、1986年に現代美術の登竜門である安井賞を受賞され、南日本女流美術展の審査員として鹿児島にゆかりのある画家として県民の方々には周知されている先生である。新聞等で皆さんもご存じと思うが、「人間の存在」をテーマとして描いた作品1000号（3.3M×5M）、1500号（3.3M×7M）の巨大な作品を中心に78点が展示されている。会場に足を運ぶとその巨大作品に圧倒され、つい身体が後ろに下がる感じがした。遠藤彰子という作家の小さな身体から描かれるその迫力は、自然界の中で人間の魂の大きさを感じたところであった。

今回の展示会の特徴は、会期中に「遠藤彰子講演会」「遠藤彰子ワークショップ」「作品説明会」「白鳥五十鈴パフォーマンス」など多くのイベントが企画され、コロナ禍の中で感染対策に注意しながら出来る大きな規模の展覧会ということで注目したところであった。

3月28日（日）に開催されたワークショップだったが、春休みということもあり多くの子どもたちがこのワークショップに足を運び、不要となっ

た流木に絵を描いて新しい命を誕生させていた。出席者は90分ほどの楽しい時間を過ごしていたようであった。

この日は、私も私立美術館地下においてグループ展を開催していたので、遠藤彰子さんに私たちの作品展の様子を観覧していただいた。南日本女流美術展の審査員をされていることもあって出品作品等の講評などをいただいたことで出品者は喜びに包まれていた。

コロナ禍の中で、このような大きな企画展が開催できることを今回勉強させられた。垂水市においても「和田コン」や「垂水街角美術館企画展」でも感染対策を十分に取りながら多くのイベントを開催する、こういう時期だからこそ開催しないといけないと痛切に感じたところであった。

田之上委員

「新年度を迎えたこと」

まずは、新年度が無事に始まったことに安堵している。

子どもたちを見ていると、進級した途端に何かすごくお兄ちゃん・お姉ちゃんになった感じがして、すごく誇らしげに、もう私何年生だからというような感じになるのが不思議だなと思って見ているところである。新入学した子どもたちは、うれしさと不安と半々というところだろうか。

「新任・転入教職員宣誓式」

宣誓式も行われたことは本当によかったと思う。先生方の様子を拝見していると決意が伝わってきて、先生方が本市の子どもたちのために力を尽くしてくださるであろうことを確信することであった。紹介のビデオも去年が見れなくて久しぶりに見たが、すばらしいものが出来ていて、私達も自分の町でありながら、改めて本市の魅力を再認識したというか、行ってみたいと思う所が何か所もでてきてよかったなと思うことだった。

「春休みの児童クラブのこと」

2週間余りの春休みで、来所してきた子どもたちは平日よりは少ないのだが、時間が長いので、校庭を走り回ったり、室内だと空き箱で工作をしたり折り紙をしたり、レゴブロックでいろいろなものを作ったり、何と云うか、携帯ゲームだとか、ユーチューブだとかとは本当に縁遠い生活をして、この子たち家に帰ったら本当にしているのかなと思うくらい熱中して想像の世界で遊んでくれたことはすごくいいなと思うことだった。異年齢集団なので、すごくぶつかりあうことも多いのであるが、そうやって集団での生活を学んでいくのかなと改めて思うことだった。

4月1日からは、新一年生もたくさんやって来て更に賑やかになった。最近の子どもたちは物怖じしないと言うか、人見知り無く溶け込んでくれて、垂小はすごく元気いっぱいの子どもたちである。春休みにミニコンサートが文化会館でもあったのであるが、前日に垂小の児童クラブでも体育館を借りてミニコンサートを行った。また、その時に、水之上児童クラブも参加してくださり、一緒に音楽を楽しみながら交流ができてよかったと思うことだった。その際に、会場の体育館の入口でドアを開けてくれたり、入口で消毒をしてくれたりとこちらが何も言わなくても上学年の子どもたちが率先してやってくれて嬉しかった。子どもたちの成長を見ることがで

きた1日でした。

福里委員

新学期が始まり、いよいようちの息子も最高学年の6年生になった。先生は誰でもよい、友達是谁でもよい、親友の子と一緒にいられればよいと言っていたが、残念な結果であった。ショックを受けて帰ってくるかと思っていたら、「昼休みに一緒に遊ぶからいい。」と言っていて、委員会も一緒になりたかったけど、ジャンケンに負けてだめで、なかなかうまくいかなかった様子。

6年生になり修学旅行もあるということで、今先生子どもたちの意欲を引き出そうとして、「このクラスはよいクラスになるだろう。」とか、「あなたのここはすごいね。」とか言うので、すごく張り切って学校に行く姿が見受けられる。そんな矢先、サッカーからの帰りにランドセルを忘れたり、色々なことがあるが、本人はすごく張り切って学校に行っているので楽しみだなと感じている。

娘の方は、前の先生が大好きで、その先生について行きたいとずっと言っていたが、持ち上がりではなく、違う男の先生だった。娘は仲よしの友達ばかりとまた一緒になりすごく喜んでいる。3年生になると勉強も難しくなるという。「2年生の4学期みたいで、まだふわふわしている感じだ。」と先生からの便りに書いてあった。これから、先生が厳しくやってくれるのではと思っている。

垂小の1年生は元気な子が多いということだが、うちの幼稚園からも結構元気な子が垂小に行った。学級は3クラスになるかもと言われていたが、1人のことで2クラスになったと聞き、ちょっと大変だろうなと思っている。コロナ禍でまた制限されることが多々あると思うが、ゴールデンウィーク明けは、修学旅行がある。鹿児島市内での実施だが、(コロナで)行けない場合は垂水でもよいのかなと思っている、親の方もそう言われている。友達と泊まるという事が楽しいということなので、「森の駅」でやるとか、泊まれるだけでもよい。宿泊学習もなかったので、修学旅行は別の形でも出来たらよいなと思うところである。

教育長

スライドショーを褒めていただき有難い。あれは、福島さんがメインとなり創ってくれたもの。今年バージョンは新しい情報が入っていた。特に「GIGAスクール」が入っていた。そうやって、職員は育っていく。よいものを創ってくれる。市長もあれをご覧になり、「よいものができていますね。」とお褒めの言葉をいただいた。あれは、今年来られた先生方の心に届いたのではないかと思う。

気づかれたと思うが、この花壇の苗は、社会教育課長が自ら軽トラックで学校を往復しながら持ってきたり、あるいは苗を買いに行ったりと、社会教育課、2階の教育総務課、学校教育課の職員が時間をつくり、皆でやってくれた。勿論、メインは社会教育課。今年も3課で一緒になって出来ることをしていきたい。

また、今年は9人中6人の校長が替われ、教頭は3人出て2人入って来られた。学校の雰囲気も変わると思う。また、よい方向に導くのが私達

の役割だと思っている。3課長の協力をいただきながら、また、学校に入っていく指導主事に頑張ってもらいながら、良いスタートが切れるよう支えていきたいと思っている。今年は垂水の教育が大きく大きく変わる年である。私もそれを大いに期待している。

「さわやかあいさつ運動」が始まっており、市の職員も多く参加してくれている。また、教育委員会の職員も連日参加してくれている。

子どもの姿をしっかり見届ける、あるいは挨拶を交わすことが非常に大事だと思っている。子どもから言えば、見守られていて幸せだと思う。

感心なのは信号機のない交差点で、ドライバーが止まって通してあげると、垂水の子もたちは必ず会釈をしてくれる。中学生は勿論だが高校生まで会釈をしてくれる。これはよい事だなあと思う。この話を、新たに垂水に転入して来られた先生方からも聞く。これは、しっかりと小学生から、あるいは、もっと幼い頃から身に付いてきたことだと思う。素晴らしい事だと思う。引き続き、そういうことが常に出来る子どもたちであってほしいと思う。

私は、「学校は楽しいところ」と子どもに思ってもらいたい。スタートの時期だからこそ、「学校に行けば何か楽しいことがある。勉強でもよいし、子どもたち同士の遊びでもよい、あるいは学校生活のイベントでもよいし、学校に行けば何か楽しいことがある、学校とはそんなところだ。」と思ってもらいたい。

もう一つは、何と言っても、学校・学級の中に自分の居場所は必ずあると言うことである。そういうところを学校と一緒につくっていったらと思う。

冒頭、松山選手の優勝の話をしたが、その前に嬉しかったのが、池江璃花さん、彼女もすごいですね。やっぱりスポーツはよい。彼女の言った言葉「努力は必ず報われる」は本当にその通りだ。死に物狂いの努力だったのである。プールの飛び込み台、彼女のメインコースは4コース。4コースにこだわる。ここは、彼女のトップスイマーのこだわりでもある。病気が治る過程の番組を見ていたが、最初は怖々と飛び込んでいたのが、それがもう、驚くような泳ぎで、三つも四つも優勝した。標準がパリだったが、もう東京になっている。あれを見て、子どもたちも思うところが多々あると思う。これが何と言ってもスポーツの魅力である。

今日の松山選手の優勝も、きっと子どもたちに良い影響を与えてくれると思う。私の方からは以上です。コロナ禍ではあるが、しっかりと子どもたちを見守りながら出来ることはしっかりとやっていきたいと思う。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長
兼
国体推進課長

3月10日から4月12日までの主な行事等について各課長が報告。併せて、4月13日から5月11日までの行事予定についてお知らせした。

6 閉 会